

令和6年(2024年)11月18日

2024年度 同志社大学商学部父母会・政策学部

「父母のための就職セミナー」について（報告）

西中国支部長 高橋雅彦

○就職セミナーの概要

日時：11月17日（日曜日） 13時～15時10分
場所：ホテル広島ガーデンパレス 「雅」（広島市東区光町1-15-21）
参加者：同志社大学 商学部 浅原事務長、政策学部 辻事務長
保護者参加者 商学部10名、政策学部15名

1. 2024年就職活動動向（13:00～13:30）

登壇者：(株)マイナビ 副編集長 坂田 隆さま

就職戦線の状況や就職活動スケジュールなど、就職活動全般にわたる話をいただきました。年々、採用活動の動きが早くなっているとのことでした。



2. 企業の人事担当者による講演（13:30～13:55）

登壇者：(株)中電工 業務本部人事労務部人事企画担当 米田友幸さま

はじめに「中電工って、こんな会社」のタイトルで会社PRをされ、採用担当者から見た就職活動の実態についてということで、技術職と事務職の採用スケジュール、選考スケジュール、求める人物像、選考で見ているポイントについて話をいただき、最後は「父母の皆様へのお願い」について締めくくられました。



3. Uターン就職支援と公務員試験について(13:55~14:18)

登壇者：広島県商工労働局雇用労働政策課 主査グループリーダー 平野恵子さま
前半は広島県の就職についての取り組みについて、ひろしま業界マップなどの配布資料を基に話をされ、後半は公務員について、その種類や広島県の採用試験制度について話をしていただきました。今年度の行政職（一般方式）の倍率が2.6倍とのことでしたが、売り手市場の影響もあるのか、随分低い倍率だと感じました。



4. 就職活動体験談(14:28~14:50)

登壇者：政策学部4年生 住吉茜音さま

ご自分が就職活動に臨まれた体験談について、しっかりと話をしていただきました。

- ・自己分析ツールを使うこと、他己分析を行うこと
- ・企業研究はマイナビや就職四季報を活用し就職活動が終了するまで継続すること
→就職活動の軸を決定することが重要
- ・選考の練習としてインターンシップに参加すること
→エントリーシートや面接の練習になる
- ・タスク管理の習慣をつけること
→複数の会社のスケジュールを管理する
- ・早期選考に参加すること
→早期選考がだめでも本選考にチャレンジする
- ・OB OG訪問を行い、内定後も内定企業の社員の声を聞くこと
- ・実際にエントリーする企業数については、多くし過ぎないこと
→自分が話す内容に一貫性を持たせること
- ・とにかくメンタル管理が大事！

最後にTOPPANに決めた理由、採用活動の振り返り、家庭のサポートについて話をされ締めくくられました。



5. 同志社大学のキャリア支援と就職状況について(14:50~15:10)

登壇者：同志社大学政策学部事務室 事務長 辻 憲一さま

就職活動と同志社大学の就職状況、就職活動を行うにあたって、同志社大学のキャリア支援、ご父母の皆様へのお願いについて話をさせていただきました。

辻事務長はキャリア支援センターに所属されていらっしゃることもあり、非常に多くの情報提供をしていただきました。



6. 質疑応答

全体としての質疑はなしとし、就職セミナー終了後にご父母の皆様が個別に登壇者のところに行って個別で話を聞かれるスタイルとしました。